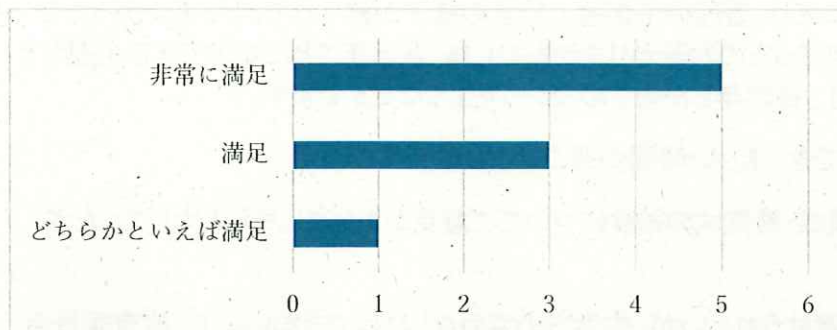


(3) PTA アンケート結果

<設問1> 2学期終業式に給食を提供したことについて、当てはまるものを選択してください。(必須)



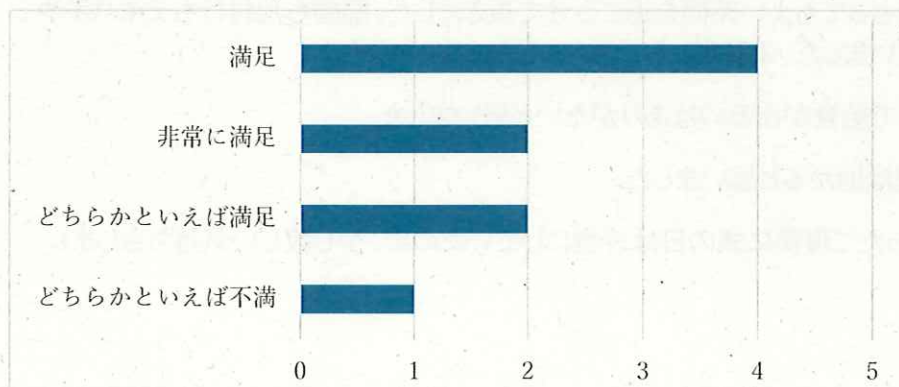
<設問2> 1について、ご意見があれば入力してください。(任意)

親としては、会社の休みを取らずに済み、非常に助かりました、ありがとうございます！

父兄からすれば食事を食べて来てくれると助かる等の意見を持たれていると思います。

中学生は部活があるので、給食があって助かりました。

<設問3> 2学期終業式の給食提供では、各学校で児童会や生徒会が中心となり、「どうすれば全員で楽しく給食が食べられるだろう？」というテーマをもとにアイデアを出し合い、さまざまな工夫をしました。また、当日は給食の提供や給食の時間の見守りを PTA・地域の皆様にご協力いただきました。この取組はよかったですか。(必須)



<設問4> 3について、ご意見があれば入力してください。(任意)

学校側へ進め方を考えるようにしてもらったことで、負担をかけてしまったのではないか？いつも通りの給食に PTA が配膳や片付けサポートに入るだけでもよかったかもしれません。

運営については不満というよりさらなる検討が必要だろうと思います。PTA や地域の皆様にとしては、PTA がどれだけ参加したとしても戦力にはなりません。逆に参加が多いほど迎え入れる学校側の負担が増えるのを感じました。終業式にと指定して続けるのであれば、はっきりと学校に業務として依頼し、できる、できないを含めて検討し、PTA や地域への依頼については各学校に任す方がよいのではないかと思います。

見守りをしましたが、1年生は個々で前を向いて食べていたので、全員で楽しくという工夫は感じられませんでした。給食の準備等を見られたのは貴重な機会となり、大変うれしかったです。

2年生のクラスに手伝いに入り、普段の子供達の給食の様子が観られて、とてもよかったです。ただ、特別な企画が何だったのか分かりませんでした。各学年ごとに参加できる企画だとよかったのかなと思います。高学年しか楽しめなかったような気がします。

給食の様子を見ることができ、楽しい時間が過ごせました。

<設問5> その他、始業式・終業式の給食についてご意見がありましたら入力してください。

1学期、3学期もやれると親はうれしいが、先生方の協力なしにはできないので、教育委員会と教職員組合で話し合いを重ねていただくことを切に願います。

前述の通り、始業式・終業式に給食が出て助かる家庭は多いと思います。生徒会や児童会が給食に関して運営していこうとする機会は大切だと思います。ただそれを見守ることについてはあくまで責任ある業務として扱うべきなのだろうと思います。アレルギーや誤嚥誤飲、異物混入などリスクをPTAや地域が見るとするのは難しいと思います。各学校で普段からのPTAの参加が多い、少ないはあるでしょうし、各学校の判断に任せてよいのではないかと思います。意見しましたが、これで終わりではなく次につながってほしいと思っています。

給食はあるとありがたいです。

生徒さんたちはみんな美味しそうに楽しく給食を食べていました。知らない大人(私)にも話しかけてくれて私自身もとてもよい時間を過ごさせて頂きました。配膳も片付けもテキパキやっていてすごいなと思いました。ありがとうございました。

親としては終業式まで給食が出るのはありがたいと思いました。

仕事をしている家庭は助かると思いました。

我が家は普段頑張ったご褒美に式の日には外食にしていたので、少し寂しい気持ちもしました。

子育て世帯の負担軽減のため学校給食費の補助を拡大します

こども未来部 教育課

173,028 千円

(前年度当初予算額) 0千円

【目的】

教育の一環として実施している学校給食について、給食の質の確保を図りつつ、保護者の経済的負担を軽減するため、学校給食費を補助します。

【事業内容】

国による小学校給食費の抜本的な負担軽減^{※1}に上乘せし、東浦町が補助を行います。また、義務教育期間を考慮し、中学校給食費についても、国の抜本的負担軽減施策に先行して、小学校と同様の考えで東浦町が一定の補助を行い、保護者の経済的負担を軽減します。

※1 文部科学省の学校給食実施状況等調査（令和5年5月1日現在）によると、学校給食費の月額平均は小学校で4,688円、中学校で5,367円でした。この調査結果を基に、国は小学校の負担軽減額を月額5,200円としました。中学校の負担軽減額は月額5,900円と想定されます。

事業実施時期（予定）

2026年4月～

【児童生徒1人あたりの給食費等】

学校	給食費 ^{※2}	公費負担額	保護者負担額	備 考
小学校	300円/食 (60,360円/年)	国県の補助金額 57,200円/年 東浦町からの補助 最大3,160円/年	0円/食 (実質無償化)	東浦町からの補助は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し公費負担。これにより、2026年度は小学校給食の実質無償化を実現。
中学校	350円/食 (70,940円/年)	（今後想定される） 国県の補助金額 ^{※3} 64,900円/年 東浦町からの補助 最大6,040円/年	330円/食	

※2 更なる給食賄材料費の高騰が見込まれるため、2026年10月から給食費を改定予定年額は改定を見込んで算出（増額分は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し公費負担を予定）。（改定見込み額：小学校320円、中学校370円（学校給食センター運営委員会で審議予定））

※3 中学校における国県の補助金は、今後想定される金額のため、実際には補助はありません。

【予算事業名】 10款5項4目 給食センター運営費

東浦町立小中学校
保護者の皆様へ

東浦町教育委員会
教育長 庄子 亨

2026(令和8)年度の学校給食費について

日ごろは、東浦町の学校給食にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
4月から、小学校給食費は、国県の補助に、町独自の公費負担を加えて、実質無償化を実現します。

また、中学校給食費については、国の施策は実施されませんが、町が国に先行して補助を行い、保護者負担の軽減を図ります。

来年度の学校給食費の保護者負担額については、下記のとおりを予定しています。
今後も、安心・安全な学校給食の実施に努めてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

記

1. 2026(令和8)年度の学校給食費および保護者負担額 (1食あたりの給食費)

学校	給食費	保護者負担額	備 考
小学校	300 円	0 円	国県の補助+町の補助で実質無償化
中学校	350 円	330 円	20 円/食を町が補助

2. その他

- ・国の施策は、学校給食費(食材費)の負担軽減を通じた子育て支援に取り組む自治体への支援です。
- ・これらの内容を、令和8年東浦町議会3月定例会にて提案済みであり、承認されれば、実施します。
- ・町の補助は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用しています。
- ・2027(令和9)年度以降の公費負担については、現時点では未定です。

問い合わせ 東浦町学校給食センター 83-5314